ナタネ「きらきら銀河」の播種量と追肥の増収効果

福島県農業総合センター　作物園芸部畑作科

1　部門名

普通畑作物－その他－栽植様式・栽植密度

2　担当者

平山孝

3　要旨

ナタネのダブルロー品種（在来ナタネが含有するエルシン酸を含まず、家畜に有害とされるグルコシノレートが極めて少ないため、食用・飼料用ともに優れる）である「きらきら銀河」の栽培において、9月下旬～10月上旬に播種（条播）する場合の播種適量は 30～50g/aであり、子実重確保のため越冬後（抽苔前）の窒素追肥が重要である。

(1) 農業総合センター内の水田転換畑において、ナタネ「きらきら銀河」を9月下旬～10月上旬に播種（条播）した結果、播種量30g/aで子実収量が最大となり、播種適量は30～50g/aである。

(2) 窒素成分0.4kg/aの越冬後（抽苔前）追肥による増収効果は両年で56～72%であった。

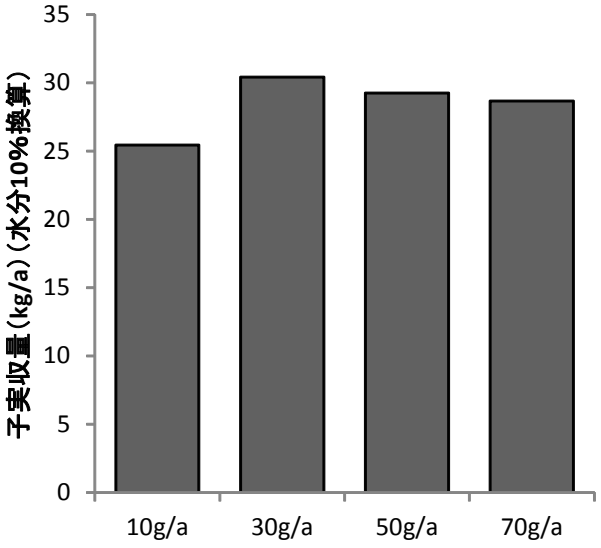

図1　播種量と「きらきら銀河」の子実収量（2016年）

注：値は平均値(n=2)

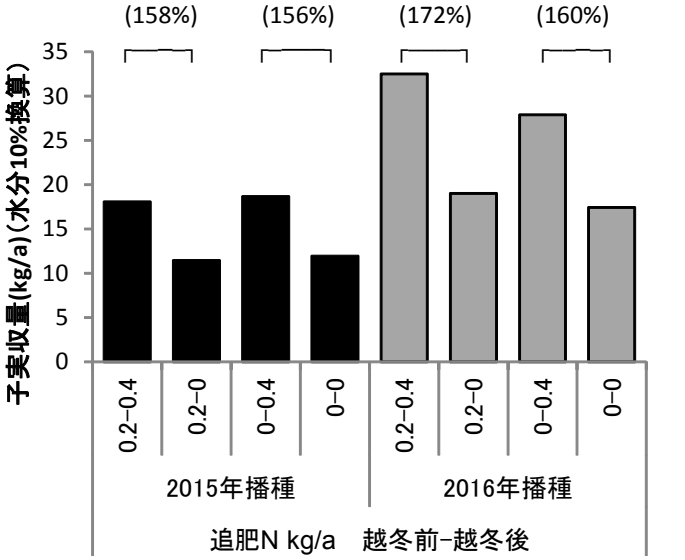

図2　追肥体系と「きらきら銀河」の子実収量（2015,16年）

注1：（ ）は越冬後追肥による増収率　注2：値は平均値(n=2)

4　成果を得た課題名

(1) 研究期間　平成27年度～28年度

(2) 研究課題名　地域性を活かしたナタネ優良品種の選定と栽培体系の確立

(3) 参考となる成果の区分　（指導参考）

5　主な参考文献・資料

(1) プレスリリース「寒冷地向きナタネ新品種「きらきら銀河」」（農研機構、2016年）
https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/tarc/061188.html

(2) 実用化技術情報「試料利用も可能なナタネ新品種『「きらきら銀河』」（2015年）
http://www.pref.fukushima.lg/jp/w4/nougyou-centre/kenkyuseika/h27_fukyu/h27_04_natane.pdf